



# 函館北ロータリークラブ会報

ビル・ハントレー 国際ロータリー会長テーマ

## 友達になろう BE A FRIEND

富原 薫 ガバナー テーマ「地域にねざして世界と語ろう。」  
濱 武 会長 テーマ「夢と愛と知恵そして少しの勇氣。」



6月7日卓話 工藤 恵美さん

《第1540回例会》 第46号 6月11日(日)

### 本日のプログラム

「野外家族会」

鹿部ロイヤルホテルガーデンテラス

★会長 濱 武 ★幹事 大野 章

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 ニチロビル3階 23-3870

1994～1995

〈第1539回例会〉第 45 号

## 6月7日の記録

- ◎司 会 濱 武 会長 ◎斉 唱 君が代、手に手つないで
- ◎ビジター 函館R.C. 中澤郁雄君・渡部明男君、函館東R.C. 井上 孜君・大桃泰行君・佐竹干明君、函館五稜郭R.C. 富田邦義君・田村政志君・福岡一成君・名取晃一君
- ◎ゲ ス ト グループ22代表取締役 函館市議会議員函館青年会議所会員 工藤 恵美 氏

- ★誕生日 大野会員（4日）、阿相会員（16日）、松橋会員（21日）、村井会員（25日）、薮下会員（28日）
- ★結婚祝 北村会員（4日）、南木会員（7日）、村井会員（9日）、西尾会員（25日）、青田会員（30日）

## ◎会長報告 濱 武 会長

- 6月3日に第10分区・11分区の新旧の会長幹事会がありました。その内容につきまして報告致します。まず一点目ですが、94年・95年のIMの決算報告が出来ましたのでご報告がありました。決算につきまして引き継ぎも諒承されました。二点目ですが合同事務所の運営委員会の報告が函館五稜郭R.C.の佐藤幹事から詳細にわたってお話がありましたが、その内容につきまして後日報告申し上げることに致します。三点目ですが、次年度の合同の活動についての報告がございました。この中には経費をどうするというのもありまして後程ご報告申し上げます。
- 来年度のIMを来年の2月10日森クラブのホストで開催されることになりました。会員名簿が7月10日できます。
- 交換学生の受入分担で今年度は函館R.C.が担当になりました。
- 合同事務所の名簿の確認ということで、必要部数を申し込むことに致しました。

## ◎委員会報告

- ・社会奉仕委員会 中川 洲平 副委員長

6月18日、社会奉仕で北ロータリーのバンドの仲間と桔梗町の厚生院の施設に

訪問することになっておりますのでご報告致します。

## ◎幹事報告 大野 章 幹事

- 財団BOXは本日で今年度最終のご協力お願いです。
- 他クラブ情報 6月13日(火)函館東R.C. 6月19日(月)函館亀田R.C.は移動例会に変更になっています。
- 次週6月14日の例会は6月11日(日)の野外例会に変更です。バス利用の方は国際ホテル前、午前9:00 出発です。
- 最終クラブアッセンブリーのご案内を致しました。各委員長又は副委員長は勿論、例会移動ですので多数ご参加願います。尚報告書は14日必着でご提出下さい。
- IMの報告書ができました。自由にお持ち帰り下さい。
- 新入会員推薦がございました。異議申し立ては6月16日迄。
- 例会終了後、理事役員会を開催します。

## ◎親睦活動委員会 小林 裕幸 会員

## ニコニコBOX投入報告

- 森(例) 会員……久しぶりに天気になりました。
- 濱 会長……陽気がよくなりました。
- 渡辺 会員……月初めですので。
- 西尾 会員……受け付けごくろうさまです。
- 小林 会員……当社では函館を舞台にした「高田屋嘉兵衛ものがたり」を今週土曜日午後4時から放送します。
- 吉田 会員……受け付けごくろうさまです。
- 中里 会員……巨人が勝ちはじめましたので。
- 大野 幹事……誕生月です。プレゼントありがとうございます。
- 伊藤 会員……受け付けにこわいのが座っていたので。
- 奈良 会員……三沢さん、きのうはゴルフの指導ありがとうございます。
- 小池 会員……10年間100%出席しました。
- 松見 会員……月初めですので。
- 薮下 会員……誕生月ですので。
- 阿相 会員……6月11日野外例会に参加しましょう。

吉野 会員……月初めです。

椎谷 会員……月初めです。

市川 会員……BOXに協力。

山崎(笑)会員……本日PM2:15、FMいるかに出席します。久しぶりのホームクラブ出席です。

村井 会員……月曜日、理事委員長会議ご苦労様でした。

増山 会員……臨時収入が一寸ありました。

◎卓話 「ラブリバー亀田川」 工藤 恵美 氏

グループ22代表取締役 函館市議会議員函館青年会議所会員

ただ今、ご紹介いただきました工藤恵美でございます。

本日は、このようにお話を機会をあたえていただきましてありがとうございます。少し自己紹介をさせていただきます。

私は川原町で風船という蕎麦所を13年間経営しております。腕前の方は一応2段ということになっていますが、コーヒーを入れる方がずっと上手ですから、一度みなさま飲みいらして下さい。

それから本町で「ごちそうさま」という居酒屋をやっています。夕方5時から夜中の12時までかっぱう着姿で「えみちゃん、ビール」「えみちゃん、天ぷら」などと言われながら、忙しく店の中を走り回っています。

いつか女性経営者として大成したいものだ、そう思いまして会社の名前もグループ22、何事も百年の計といいますから22世紀までも名前が残るようにと、日夜一生懸命働いていました。

しかし、自分の計画どおりにいかないのが人生なのでしょう。今年の3月になってから市議会議員の選挙に立候補することになりました。周りの人たちは告示までひと半月しかない、間に合わないからやめたほうがいい、いやチャンスだからやるべきだ、などいろいろなアドバイスをしてくれました。

いろいろと迷いましたが3月3日に立候補を決め、結果は定員40名中39番目ブービー当選でした。

おかげさまで現在市議会議員という肩書きが増えましたが、同時に借入れも400万円増えました。いままで以上に一生懸命働かなければなりません。

この当選を通して感じたことは、お金がかかりすぎる、よく選挙は告示のまえに終わっていると言われているのに、告示からの一週間に随分かかります。た

たとえば選挙カー一台に私の場合は100万円かかりましたし、それに先導車をつけて走りましたので一度に運動員の人たちが10人ぐらいのります。2交替ですから、一日約20人、その人件費、衣装代がたいへんです。

アメリカの俳優のクリント・イースト・ウッドさんが市長選に出たとき、ライトバンの助手席に彼ひとりだけ乗って「ヤァ、たのむよ」そんな気楽な感じで「ワー、かっこいいなあ」そう思ってあこがれた記憶があります。

選挙はお金のかからないよういろいろと改善するべきところがたくさんあると思います。函館にも若くて優秀な人たちがたくさんいて、もし経済的な負担が少なければ、その人たちが意欲的にチャレンジしてくるはず。そうすれば議会も活性化され、街づくりも環境問題に対しても、もっと夢のある積極的な対策が議会に数多く提案されるのではないかと思います。ぜひ、次の選挙までには大幅な改善がなされるよう議会に具体的な提案をしていくつもりでいます。どうかロータリークラブのみなさまのアドバイスをよろしくお願い致します。

「ラブリバー亀田川」と表題になっております、環境問題について何かお話しさせていただきます。6月は環境月間ということで、全国各地で植樹をはじめいろいろな事業が行われています。6月5日にも北電さんでは街頭で100個の花小鉢をプレゼントされていましたが、そのなかでも特に私が「すごいなー」と思いましたのは、帯広市の事業です。「帯広の森市民植樹祭」と云うのですが、今年で21年目を迎え、これまで延べ93,000人が参加し、約85ヘクタールに16万5千本を植樹したということです。これは今はお亡くなりました、吉村市長さんが自然環境の重要性を考え昭和45年に100年後の完成を目指し、帯広の街をみどりのベルトで囲もうという壮大な構想を打ちだしたのがはじまりです。あまりのビックプロジェクトに賛否両論の論議がくり返され、市議会に提案されたのが48年「賛成18票、反対17票」「1票差で決まった」と伝説的に伝えられています。用地買収の可能性、その資金は、そして森の莫大な管理費用はなど夢が大きければ大きい程膨大なコストがかかります。しかし21年たった今、故吉村市長の夢は帯広市民にとってかけがえのない財産になっているのです。

私は主人の実家が七飯町にあるものですから、毎日のように5号線か大野新道を通ります。とくに大野新道から美しく見えるはずの横津岳連峰のみどりが赤茶色に大きく削りとられ日を追ってどんどん大きくなります。自分の皮膚がそがれていくように見る度に痛みを感じております。同時に、あの町は何を考えているのだろうと腹立たしくもなります。一方では100年もかけて、大勢の人たちが苗

木を一本、一本に愛情に込めて植え、もう片方で何百年もかかってできた緑をダイナマイトを使い、わずかな日数で跡形もなく消えてしまう。これが自然環境に関わる社会の二面性と矛盾ではないでしょうか。言い換えれば、軸足を世代を越えた人間の生命に置くのか、それとも我々現代人と切り離す事のできない経済に置くのか、たいへん難しいテーマではあります。

このように身近な環境破壊、さらに地球規模での破壊は想像以上に急速に進み、人工的な復元は牛歩のように鈍い、これはたいへん不安です。しかし、不安だ、不安だ、と言っているだけでも何の解決にもなりません。各々が何かをすべきだと思います。そこで私は意を決して8年前に選挙に立候補しました。

私の原体験の中にあり、いまは失われつつある、たくさんの自然、たとえば小学生の頃大沼のキャンプ場で始めてみたホタル、その淡い光を放つ昆虫の発見に大変感動をし、時の過ぎるのを忘れて見ていた、そんな記憶があります。今の子供たちに夜空いっぱい飛ぶホタルを見せてあげよう、私が受けた感動を体験させよう、そしてホタルをとらしてその背後に広がる環境全体を考えよう。そう訴えながら選挙を戦いました。

結果は当選まで500票もありませんでした。周囲の人たちは「全然無理」そう思っていたらしいのですが、自分自身では結構いけるかな、と思っていたので、残念で涙もずいぶん流しました。しばらく落ち込んでいたのですが、「せっかく函館中に名前を宣伝したんだからそれをやくだてて、何か商売でもしたら案外成功するかもしれないぞ」そんなアドバイスをしてくれた友達がいました。私の思考回路はひとに比べてかなり単純にできているらしく、市議員への夢はあきらめよう、会社を設立して社長になろう、そう決意をしグループ22をつくり、新たな夢にむかって一生懸命働きました。

人生は何が起るかわからないものです。ある朝突然、ある市議員さんから電話をいただきました。「補欠選挙に出てもらえないだろうか、実は立候補予定者が急に出来なくなったもので」しかし、それには次の選挙には立候補しないという条件がひとつ付いていました。告示まであと4日しかありませんでしたが、例によって思考回路が単純なものですから、二つ返事で「いいですよ」といって引き受けました。一度でいいから議場で質問してみたいと思っていましたので。

平成3年第1回定例会において個人質問をすることに決まったときはほんとうに感激しました。議会では環境問題を5項目にわたり質問と提案をしました。

私はぜひいってみたい町があるんです。それはスイス南西部にあるツェルマッ

トです。ここはマッターホルン、モンテローザなどアルプスの登山基地として、また観光保養基地として有名ですが、この町にはガソリン車は一切乗り入れは禁止されています。テレビで見たのですが、この町を通過するには一度カートレインに乗せて通らなければなりません。街の中はすべて電気自動車なんだそうで、たしかに函館とは観光都市としての経済的ファンダメンタルスの違いはあるにしても、国際観光都市函館の究極的理想型ではないでしょうか。現段階での一般や民間企業による電気自動車の使用コスト的に問題ですが、自治体ならば十分に可能ではないだろうか、そこで環境保全、復元のシンボルとして他都市にさきがけての購入を提案しました。まず環境部に質問書が提出されましたが、答弁できる資料が全くないと言うことで商工部に回されましたが、ここでも答えは同じでして、結局、企画部が担当することになりました。

幸いなことに、この年度から環境庁は低公害車普及促進事業として新たな補助制度を設け、自治体に電気自動車などの低公害を率先して大量導入させることにより、民間への普及促進を図ろうとしていました。翌年、函館市は環境部のパトロールカーとして電気自動車を購入しました。そのときすでに議員をやめていましたから、新聞で知り「ヤッター」と一人でガッツポーズしました。車のネーミングを募集していましたので「えみちゃん」と書いて出そうと思ったのですが、さすがにそれはやめました。

この件で二つのことを学びました。ひとつは、行政というのは未来や夢に対して自らが積極的に思考するシステムになってはいないということ、もう一つは、夢や希望を受け入れるキャパシティはあるということです。質問の中で長年の私の夢でありました、ホタルの育成を提案しましたところ、うれしいことに土木部の公園緑地課で昭和61年から平成元年までの3年間にわたりホタル育成を試みていました。しかし、その後なぜか育成は行われていません。平成3年度の予算がつき、今度は函館市住宅都市施設公社「花と緑の課」にホタルの会をつくりまして、見晴公園内の育成水路で人工飼育することになりました。去年10月に500匹、今年は5月28日に300匹、見晴公園での屋内人工飼育で育成されたホタルの幼虫300匹をホタルの会、会員の手で育成水路に放流しました。今年の夏には何匹のホタルが羽化してそのうつくしい光を見せてくれるのでしょうか。市がはじめてホタルの飼育に試みた昭和61年から今年で9年目です。そしてわずか800匹の幼虫を放流したにすぎません。このように一度失われた自然を復元することがいかに難しいことなのかと同時に、行政の力だけでは物理的に限界があるという

ことなのでしょう。昔のように至る所でホテルが飛びかい、夏の風物詩として市民を楽しましてくれるのはいつの日になるのでしょうか。そこでホテル育成を市民参加のもっと大きな事業にできないものだろうか。ということで、団体・企業、そして個人の皆様に呼びかけまして、現在花と緑の課にあります「ホテルの会」の後援組織をつくる計画がございます。ぜひロータリークラブの皆様には、育成事業をどうしたら成功させることができるのか、アドバイスとご協力をお願い致します。

私は青年会議所の会員なんですが、4年前に所属していました町づくり委員会  
で殺風景な亀田川の河川敷きに桜の植樹をしようということで「ラブリバー亀田川事業」をはじめました。亀田川を美しくする会、町会連合会、市の土木部、団体、個人など多くの人たちの参加のもとに4年間で514本の植樹をしました。しかしこの事業も青年会議所の事業で続けることができません。なんとか、青年会議所  
に変わる受け皿をつくって事業を継続させたいものです。いつの日か、大森浜から袴腰岳の源まで20.1キロの亀田川沿線に限りなくつづく日本の桜並木を見ることができるのではないのでしょうか。「考えるのは、地球的規模で、行動は、まず地域で」というのが環境問題の取り組み方だと思います。これからもみじかな事から手がけて行きたいと思っております。

北ロータリークラブの皆様には今後とも、何かとご相談やお願いに伺いますので、今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 5月31日	90.63%
出 席	34名		函 館 東 5月30日	97.85%
欠 席	33名		函 館 5月25日	89.29%
他クラブ出席	24名		函館五稜郭 5月26日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田 5月29日	88.18%
除 外 者	3名			

次回・6月21日  
プログラム

「クラブアッセンブリー兼夜間例会」



# 函館北ロータリークラブ会報

ビル・ハントレー 国際ロータリー会長テーマ

## 友達になろう BE A FRIEND

富原 薫 ガバナー テーマ「地域にねざして世界と語ろう」  
濱 武会長 テーマ「夢と愛と知恵を少しの勇気」



6月11日 野外家族会 鹿部ロイヤルホテル

### 《第1541回例会》 第47号 6月21日(水)

#### 本日のプログラム

「クラブアッセンブリー兼夜間例会」

★会長 濱 武 ★幹事 大野 章

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 ニチロビル3階 23-3870